【研修資料】熊撃退スプレー 操作・実射訓練マニュアル

目的：ため池点検・山林調査時における熊被害防止（正しい操作の習得と緊急時対応力の向上）



1. 熊撃退スプレーの基本スペック（まずは性能を知る）

項目	要点・数値	解説・操作のコツ	ポイント
使用目的	**【最終防衛手段】**	熊と至近距離で遭遇した際、目・鼻の粘膜に強い刺激を与え、ひるんだ隙に脱出する。	攻撃ツールではなく「逃げるスキを作る」装備
有効射程距離	**約 4 ～ 10 m**	製品や風向により変化。熊を引きつけて確実に顔面へ噴射する。	遠すぎると無効。引きつける度胸が必要
全噴射時間	**約 4 ～ 6 秒（極短）**	**一気押しすると数秒で終了。1～2秒ずつの「短射（噴霧）」が基本。**	連続押しはNG！1秒ずつの区切り噴射

2. 基本操作の3ステップ（緊急時でも体に覚え込ませる）

ステップ	操作名称	具体的な手順・動作	重要チェックポイント
Step 1	**ロック解除**	ホルスターから引抜き、グリップを握りセーフティクリップを外す。	焦らずクリップを外す
Step 2	**両手で構える**	右手でグリップ、左手で缶底部を支える。膝を軽く曲げ、腰を落とした低姿勢をとる。	反動・ブレ防止のため必ず「両手・低姿勢」
Step 3	**照準・噴射**	顔面に向け、足元から顔に向かって「霧の壁」を作るイメージで1～2秒短く噴射。	**直接狙うより「霧の壁」を空間に作る**

3. 風下（自分に風が吹いてくる状態）にいる場合の特別対処法

優先順位	状況	具体的な行動手順	自衛・留意点
優先1	**位置をずらせる場合**	熊から視線を外さず、背中を見せずにゆっくり横（横風～風上側）へ移動し、風の影響を避ける。	絶対に走らない・背中を見せない
優先2	**移動不可の場合（緊急・至近距離）**	熊が2～3mまで迫るのを引きつけ、熊の鼻先～前足付近の地面に向け霧の壁を作るよう噴射。	**噴射と同時に目・口を閉じ息を止める！** **自分が被弾しても慌てず退避**

4. 実践訓練のながれ（体験手順）

① ロック解除確認 ： ホルスターから素早く抜き、解除動作を行う

② 風向チェック ： 風向きを意識し、風上から標的にむかって構える

③ 実射体験 ： 標的に向け、1～2秒間「短射」して圧・トリガーの硬さを体感

5. 携帯・保管の注意点（現場・日常）

【常時装着】 リュック内は不可！胸元や腰の専用ホルスターへ

【誤噴射防止】 歩行・移動時は必ず安全クリップを装着状態に保つ

【車内放置厳禁】 夏場の車内は高温で缶爆発の危険あり！直射日光を避ける

【有効期限】 3～4年で定期更新（ガス圧低下で飛距離が大幅ダウン）

【ガイドライン】熊撃退スプレー選定基準 & 遭遇時行動指針

目的：環境省・消費者庁基準に基づく適切な装備選定と、遭遇時の事故防止行動の徹底

1. 熊撃退スプレー 環境省・消費者庁が示す 6つの推奨基準

No	項目	推奨基準値	設定理由・運用上のポイント
1	**噴射距離**	**7.5 m 以上**	熊に対して十分な安全距離を保って対処するため。
2	**噴射時間**	**6 秒以上（連続）**	短射（1〜2秒）を数回行え、一度ひるんだ後の再接近にも備えるため。
3	**有効成分濃度**	**CRC 1.0% ～ 2.0%**	カプサイシン濃度。濃すぎると人体被害リスクが高く、薄すぎると熊に効かないため。
4	**噴射パターン**	**霧状（ミスト・円錐）**	水流状は照準が難しくNG。顔面全体を微細な粒子で包み込むタイプが必須。
5	**操作性・安全装置**	**誤作動防止 + ケース**	藪こぎでも外れず、緊急時は手探りで外せる安全ロックと専用ホルスターが不可欠。
6	**品質表示・期限**	**明確な使用期限あり**	経年劣化によるガス抜け・圧力低下を防ぐため、期限管理が厳守される製品。

2. 熊対策グッズの役割比較と正しい使い方（誤解防止）

グッズ種別	主な役割	正しい使用タイミング	✖ 危険な誤用・NG行動	誤用によるリスク
熊鈴	**遭遇予防（存在アピール）**	歩行中・作業中（常時鳴らす）	**熊を目撃した後に鳴らす**	熊を刺激・興奮させ、攻撃を誘発する恐れ
爆竹	**遠方の威嚇（入山時の警告）**	入山直前・見通し悪い藪に入る前	**近距離で熊に向けて鳴らす**	熊がパニックを起こし襲ってくる危険
熊スプレー	**至近距離防衛（最終手段）**	熊と遭遇し距離が詰まった時（至近距離）	**予防として空間や服に事前に吹きかける**	匂いが消えると無効。本番で残量がなくなり危険

3. 【最重要】熊を目撃・遭遇した直後の行動ルール

項目	行動ルール	詳細アクション	NG（禁止行動）
熊鈴の取扱い	**音を止める**	熊を目撃したらすぐに鈴を手で押さえ、静かに音を止めて退避する。	**目撃後に鈴を大音量で鳴らし続ける**
威嚇の禁止	**刺激しない**	大声を出したり爆竹を鳴らさない。静かに様子を窺いながら待避する。	**大声で叫ぶ・威嚇・爆竹を投げる**
退避行動	**背中を見せない**	熊から目を逸らさず、背中を見せずにゆっくりと後退して距離をとる。	**走って逃げる（本能で追ってくる）**
熊スプレー失敗	**うつ伏せで防御姿勢**	うつ伏せになり、両手で首の後ろを守る。リュックは背中を守る防具になる。	**死んだふり（無防備になり致命傷になる）**